

授業科目

保健医療ソーシャルワーク論

【 担当教員名 】		対象学年	3	対象学科	社会
村 上 信		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【 概要 ・ 一般目標 ： G10 】					
現代社会における保健医療ソーシャルワークの理念と意義，患者とその家族が直面している問題状況やニーズとそれに対応する保健医療ソーシャルワークの方法と課題について学ぶ。特に，保健・医療・福祉の連携と総合化の動向の中で，保健・医療・福祉のサービスを総合する要の役割を担う保健医療ソーシャルワークの専門性やチームワーク，ネットワーク機能について考えるとともに保健医療の諸制度の仕組みや保健医療政策の動向についても学ぶ。					
【 学習目標 ・ 行動目標 ： SB0 】					
1. 保健医療サービスの理念や医療ソーシャルワークの基本について理解する。					
2. 医療保障制度（診療報酬に関する内容を含む）の理解と共に医療ソーシャルワーカーの業務と援助の展開過程について理解する。					
3. 保健医療サービスの概要と保健医療サービスにおける他職種協働について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				
2	現代の医療と福祉の諸問題				
3	医療ソーシャルワークとは何か－医療ソーシャルワークの発展				
4	医療ソーシャルワークの援助対象である「生活者としての患者」の理解				
5	医療と福祉に関わる社会資源とサービス供給体制				
6	医療保障と医療保険制度－医療保険制度の概要、医療費に関する政策動向				
7	医療保障と医療保険制度－診療報酬制度の概要				
8	専門職の役割と実際－医師の役割、インフォームドコンセントの意義				
9	専門職の役割と実際－看護師・保健師・理学療法士等の役割				
10	医療ソーシャルワークの役割－医療ソーシャルワーカー業務指針				
11	医療ソーシャルワークの方法と展開過程				
12	医療ソーシャルワークの価値と倫理				
13	医療と福祉の連携－医療機関内連携（チームアプローチ）と地域連携				
14	事例研究－病院・セルフヘルプグループ・地域連携				
15	まとめ				
【 使用図書 】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		医療ソーシャルワーク －理論と事例検討	ジェリー・L・ジョンソン他 村上信・熊谷忠和訳	晃洋書房	2008
		参考書			
その他の資料		必要に応じてプリントを配布する。			
【 評価方法 】			【 履修上の留意点 】		
出席状況とレポート及び定期試験					